

環境研究の基盤整備

委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

- 国環研の研究の土台となる重要な活動が継続的に実施されており、高く評価できる。
- 長期的な観測は基盤の安定した国立研究機関にしかできない。各種モニタリングデータのアーカイブ拠点として、国環研が果たす社会的役割と責任は大きい。

今後への期待など

- 安定した予算、人員の確保により、今後も長期的・発展的に継続することを期待している。
- データベース化された成果は貴重な財産として世界に共有されるべきだろう。
- 国際的なプレゼンスを保ってほしい。

主要意見に対する国環研の考え方

- ①国環研の取り組みを評価していただきありがとうございます。国環研の果たすべき社会的役割および責任を認識しながら、世界的な研究コミュニティへの貢献に引き続き取り組んでまいります。
- ②モニタリングについては定期的な見直しを行いつつ、客観的判断も取り入れながら、真に必要な観測を効率良く行うことが継続にとって重要だと考えます。今後も先端的な観測手法を取り入れながら発展させるよう努力いたします。
- ③データアーカイブや研究データのオープン化、使い勝手のよいデータベースシステムの構築については、その運用・維持に人的・予算的資源を必要としますが、今後とも検討や対策を重ねつつ、限られた資源の中で効率的に長期的に取り組んでいく所存です。